



NIA SQUARE スクエア

Quarterly News

第 85 号

2009年3月1日
習志野市国際交流協会

- ◆ **今協会では** ▶ 平成 20 年度 NIA 活動報告
- ◆ **協会ニュース** ▶ 各部会の活動報告（概要）
- ◆ **姉妹都市交流部会** ▶ タスカルーサ通信
- ◆ **Let's チャレンジ** ▶ ザ・英文クロスワードパズル
読者の広場
編集後記
- ◆ **お知らせ** ▶ 文化部会（世界の料理教室）

平成 20 年度 NIA 活動報告

平成 20 年度は、総会の翌月（6 月 12 日～23 日）に、姉妹都市タスカルーサより青少年訪問団を受け入れる等、習志野市の国際化を目指した、さまざまな協会の活動に取り組んでまいりました。
平成 20 年度を振り返り、活動概要を報告します。

■平成 20 年度事業方針 事業方針に基づく活動

本協会の平成 20 年度事業方針として、山田会長より姉妹都市との交流推進、習志野市民の国際化推進のための情報提供や援助、並びに市内在住外国人との地域社会における共生化の 3 点が示唆され、本年度は、この事業方針に基づきながら、国際性豊かな習志野市民を目指し、8 部会によるさまざまな事業が展開されました。

■姉妹都市交流の推進

姉妹都市タスカルーサより青少年訪問団が来市
平成元年に第 1 回目の姉妹都市青少年受入れ以来、本市と姉妹都市間において受入れ、派遣を行ない、本年度は第 11 回目の訪問団として高校生 12 名、引率者 3 名が来市しました。訪問団は、12 日間滞在し、協会や習志野高校主催の歓迎会、皇居訪問、富士山五合目など各種のプログラムを楽しみました。特に習志野高校生との交歓会は、吹奏楽、習字、弓道などの体験を通して、タスカルーサの高校生との間に、若者どうしの意思疎通が図られました。
訪問団員のアンケート結果、全員が好感度 100% の評価をしており、習志野高校での交歓会は、21 世紀を担う日米両国の高校生にとって、掛替えのない一日となった

ばかりでなく、両市の繁栄と友情を誓い、相互理解と友好親善を将来に向かって深めることができました。



■協会の情報提供

ホームページのリニューアルをしました
ホームページは、本協会の活動を広く市民に発信し、国際交流の理解と会員の誘致増大を図るメディアとして大切なものであります。
長年の懸案となっておりましたが、使いやすく、見やすいデザインのページを目指し、また必要な情報を探しやすい、より利用しやすいホームページとなるよう昨年 10 月にリニューアルオープンいたしました。

本協会の活動を皆様幅広く周知していただくため、リアルタイムに最新情報の提供をさせていただきますので、今後ともホームページのご活用をお願いいたします。



©2008 Narashino International Association 習志野市国際交流協会 〒275-0016 習志野市南郷5-12-12 サンローラビルディング4F TEL / FAX 047-452-2650

国際化の情報提供

文化講演会「習志野捕虜収容所〜ドイツ兵が演じた親善大使役〜」の開催
文化講演会は、本協会の国際交流事業の理解とご支援を頂くと共に、習志野市民の国際化を目指すため、その時々国際交流に因むテーマにより毎年度開催しております。

本年度のテーマは、大正4年本市の一角に建てられた1,000名のドイツ兵捕虜収容所であり、ドイツ兵は、文化活動やスポーツ活動等を通し、住民との交流に努め、その後親善大使役として日独交流に尽力した方々が多数現われ、その足跡は現代にも息づいています。
習志野市教育委員会の星主幹の講演により、100名を越す入場者には深い感銘を与え、文化の違いを超えた国際交流の大切さを理解して頂いたと考えております。



地域共生化の実現

習志野市発行「ごみの出し方」冊子の英語版作成
現在、全国的な傾向であります、外国人の長期滞在化、永住化の傾向が高まっており、本市域におきましても在住外国人が急激に増加し、昨年の12月末で1,929世帯約2,592人になるそうです。

本市に暮らす在住外国人が抱える問題は、多様であると思われ、日常生活の中で待ったが利かないのが、ごみの出し方であり、ごみ集積所、収集日、分別収集等複雑で、かつ、言葉の問題からごみの出し方が分かりにくい現状があります。

そこで、まず協会の出来る事からとしては、外国人との地域社会における共生化を図る一環として、市発行の「ごみの出し方」冊子の英語訳に取り組みました。今後は、さらに多様な外国語訳に取り組みまいります。



地域共生化、市民国際化等の推進

市民、会員及び在住外国人との相互交流「ふれあい祭」の開催

本年度より、会員、市民及び在住外国人に多文化を発信する場と機会を設け、相互交流を深めるとともに、当協会の活動の周知と推進を図ることを目的とした「ふれあい祭」を、習志野市の後援で開催いたしました。

多くの国の方や会員の皆様たちの出演協力と、また多数の市民、会員及び在住外国人の来場により、多文化の相互理解が深まり、そして地域共生化、市民の国際化等への推進の一步が踏み出されたと考えております。内容としては、舞台発表では、楽器演奏・歌唱・落語・舞踊ダンス等・展示では、国際交流協会の沿革等・販売では、バザー、グッズ販売、生け花教室、福引き等がありました。

次年度以降は、今年度の開催を礎とし、「ふれあい祭」を更に意義のあるものにしてまいります。

問1 日本の経済力は世界で第()位である。



習志野市国際交流協会

第1回 ふれあい祭2009

～多文化の発信 市民の国際交流と相互理解の祭～

日時：2009年2月21日（土）
10:00～15:00



場所：サンロード津田沼（東成津田沼駅となり）5階・6階 【入場無料】

歌あり、楽器演奏あり、踊りあり、など国際色豊かに大人も子供も楽しめます

サンロード津田沼5階（和室）：生け花体験

サンロード津田沼6階（大会議室）：楽器演奏、合唱、世界のダンス、
伝統武術、世界の家庭料理レシピ、姉妹都市グッズ販売、福引、
協会PRコーナー その他

主催：習志野市国際交流協会ふれあい実行委員会

後援：習志野市

お問い合わせ：習志野市国際交流協会ふれあい実行委員会

Contact : Narashino International Association FUREAI Festival Executive Committee
TEL:047-452-2650 E-mail: nia@seaple.jp

その他

8部会の活動状況

当協会の活動を担っている、8部会が実施した事業活動の主なものは、姉妹都市交流、各イベントによる外国人との国際交流、市内に在住・在勤する外国人やその子女に対する日本語学習指導、外国語学習の講座開設、通訳・ホームステイ、若者による親睦・交流事業、年4回の協会報スクウェア発行等で、各部会長を中心に事業を推進しております。

なお詳細な内容につきましては、各部会の活動報告の中で紹介されますので、ご覧ください。



地域共生化の推進

今後の課題

現在、国内において外国人の長期滞在化、永住化の傾向が高まっております。

本市におきましても世界の61カ国から約1,929世帯約2,592人の外国人が居住しております。

国別に申し上げますと、中国、韓国・北朝鮮、ブラジル、フィリピン、ペルーからの方達が、全体の約8割を占めております。

当協会の日本語学習部会において、日本語ボランティアにより、これらの外国人と、その子女のために月曜日から土曜日までの毎日、日本語学習教室を開催しております。

一方、外国人の長期滞在・定住化に対応した相談窓口や、ごみの出し方パンフレットの翻訳等への協会対応は、現在まで残念ながら充分とは言えません。

このような状況を考えますと、自治体レベルにおいて、国際交流とは違う視点で増大する外国人に対する、種々の対応策が必要となってきているとも考えられます。

更に、今後はNIAの活動を広範に実施していくためには、市内の小中学校及び高等学校との連携を一層深めるとともに、習志野市市民との支援・協力を確かにして、実践を図ることが成果につながるように思います。また、地域における外国人との多文化共生社会実現の אחדとなる活動が、協会の課題であることには変わりありません。

いずれにいたしましても、当協会は国際交流を推進するため、国際理解を図る活動を展開し、在住外国人との共生化の活動を進めていきたいと考えております。皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



問2 日本の人口は世界で第()位である。

協会ニュース 本年度の8部会活動報告

【姉妹都市交流部会】

今井 洋子

1. SQUARE 82号から85号原稿作成(タスカルーサ通(信他))
2. タスカルーサ市青少年訪問団の受入れ準備から来日に関する業務, 4月から6月。帰国後は総括会議を開催、10月ホストファミリー懇談会開催
3. 市民祭りへの参加8月
4. タスカルーサ市さくら祭への協力
 - ① 2009年度テーマ「雨」教育長へ揮毫の依頼
 - ② 教育委員会11月の校園長会議にて俳句コンテストと絵画コンテスト参加への依頼(1月末締め切り)俳句選者への選句を依頼。2月中旬にE-Mailで作品を添付書類で送付。参加賞の配送
 - ③ 団扇の作成に協力(習志野市まちづくり推進課とタスカルーサ市姉妹都市委員会との調整)
5. ①ふれあい祭用アラバマグッズ、タスカルーサグッズ購入検討10月、2009年1月タスカルーサ市姉妹都市委員会経由購入
 - ②ふれあい祭実行委員会会議
 - ③ふれあい祭実行(2月21日(土)実行決定)

【日本語学習部会】

松井 徹

本年度も在住外国人とその児童を対象に「地域社会で日本語を話し、楽しく日常生活を過ごせる」ように、初・中級レベルの日本語学習をボランティアで支援してきました。現在ボランティア講師95人、学習者26カ国123人が楽しく学習しています。

日本文化の体験学習を通して異文化相互理解と会員の親睦を深めるため、7月には七夕祭、1月には新年茶話会、あすなろ会では書道・太巻寿司作り教室を開催しました。習志野きらっと祭には、NIAサンバチームの主力として参加し、パフォーマンス賞を受賞しました。本年1月にはボランティア講師のスキルアップを目的に、日本語研修会を行いました。3月には、毎年恒例の学習者による「スピーチ茶話会」を予定しています。「ふれあい掲示板」活動では、フィリピンの方たちに古着を、モンゴルの子供たちに筆記用具の寄付をお願いしたところ、会員から沢山の協力を頂きました。

前年度は休講しました日本語ボランティア養成講座を秋に開講し、新たに38人の日本語ボランティアが仲間に加わり、新春から活動を始めています。



【語学研修部会】

山田 大三

言語を通じ国際交流の推進と多文化の相互理解を図るため、中国語及び韓国語の先生による外国語学習を学ぶ機会を引き続き提供し、習志野市民の国際化を目指しました。

本年度も、中国語、韓国語を春期5月～、夏期9月～、冬期1月～、の3学期に分け募集いたしましたが、中国語、韓国語の応募者が定員の15名に至らず、特に中国語は北京オリンピックの年であり応募者数が期待されましたが、学習者は10名にとどまり一時開講が懸念されました。しかし、開講後は、受講者の皆様が熱心に学習に取り組まれました。

毎年度定員を上回る募集がありましたことから、減少には至りませんでした。次年度は、PRの強化等をしてまいります。



問3 タクシー運賃の高さは世界で日本は第()位である。

広報部会

谷川 博俊

1 広報誌「スクウェア」第82号から85号まで発行各号での主な内容を挙げますと、82号:20年度の活動計画等及び市立小中高等学校児童・生徒にオリンピックについての取材をしました。津田沼小学校、第一中学校・習志野等学校の児童会・生徒会役員の皆様方でした。NIAの啓発も併せて行いました。

83号:特集として、タスカルーサ青少年訪問団の習志野市においての滞在の様子を一部紹介しました。習志野高等学校及び第七中学校の訪問に随行してその交流の一部を紹介しました

84号:国際理解教育が市立園・小中学校でどのように推進されているか、を書いて頂きました。

85号:20年度各部会等の活動報告を載せました。毎号寄稿頂きました、英文クロスワードパズルの作成者御園生馨さんをはじめ、姉妹都市交流部会等の皆さんや愛読者で投稿を頂きました方々に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

2 「習志野市国際交流協会」ホームページ更新
昨年6月から、理事会及び各部会長及び事務局の協力を得ながら、昨年10月15日更新の運びとなりました。いつも新しい情報をご確にお伝えして、NIAの活動にご理解を頂き、地域の共生化と国際化の推進のために、市民の皆さんからご支援とご協力を頂けますよう努力して参ります。どうか、HPをご覧頂きまして、ご意見をお寄せください。よろしく願いいたします。

3 「スクウェア」各号の取材写真をふれあい祭で掲示しました。皆さんの交歓の笑顔が撮れていました。



【交流部会】 吉田 武

習志野国際交流協会には、各部会による交流イベントが、毎年実施されておりますが、交流部会もいくつかのイベントを実施しました。

5月には総会を開催し活動報告と方針を発表しました。

6月は、タスカルーサ市の訪問団の来日に伴い、一行のアシストを行いました。特に富士登山は天候にも恵まれ、彼らと共に感動し、良き思い出が醸成できました。7月にはサンバチームを結成し市民祭習志野きらっと2009に参加し堂々のパフォーマンス賞を獲得しました。10月は、東京夢の下町ぐるり旅です。築地のごちそう、隅田川の川下りなど日常を忘れる一日でした。今年度は、初めての「NIA ふれあい祭」を2月21日に実施しました。歌あり、踊りありの楽しいお祭りでした。今後毎年続けて行く予定です。



【文化部会】 岩橋 紘栄

「世界の家庭料理教室」はイタリア料理と日本料理を行います。3月にはペルー料理を企画しています。「文化セミナー」は生け花教室を催しました。「文化講演会」は習

第34回 世界の料理教室

ペルーの家庭料理

- ★日時: 2009年3月19日(木) 午前10時より
- ★場所: 菊田公民館 調理室
- ★参加費: 当協会会員 500円 非会員 700円
- ★定員: 15名まで
- ★持ち物: ふきん、エプロン
- ★お申し込み: 習志野市国際交流協会事務局 (月~土 9:00~17:00)

Tel/fax : 047-452-2650

E-mail : nia@seaple.ne.jp

問4 創業200年以上の老舗会社数は世界で日本は第一位である。

志野市教育委員会主幹星昌幸さんに「習志野捕虜収容所・ドイツ兵が演じた親善大使役」を講演していただきました。約100名の来場者があり、盛況でした。今年度は以上の3つの活動に加え、習志野市社会教育課からの依頼により、大正時代、習志野捕虜収容所で調理されていた料理を当時のレシピにより文化館が再現しました。そのレシピと写真が市広報のコラム「新ならしの散策」に掲載されました。



【通訳ホームステイ部会】

山口 大二郎

今年度は6月12日に姉妹都市タスカルーサより高校生12名を含む15名が来日しました。前半は受け入れ準備、ホームステイ依頼、滞在12日間のアテンドなど忙しい毎日が続きました。多くの方にホストファミリーを快く引き受けていただきました。滞在中に習志野市施設、学校訪問、日本文化の体験、スポーツ交流、富士吉田研修や学生たちの交流を含め日本に対する理解度を高めてまいりました。学生たちにとって富士山散策、合同バーベキューパーティー、茶道体験、相撲部屋での相撲体験などが特に印象深かったようです。

毎月曜日開催の「英語でチャット」ではレギュラーALTに加えタスカルーサからのローラさんも参加充実の時間を過ごしております。2ヶ月に1度開催フライデー・サロンには外国人も参加。ハロウィーン、クリスマスパーティでは仮装したり合唱したり楽しい交流を実感しております。これからは外国人向け「ごみの出し方」の英訳に取り組んでまいります。



【青少年部会】

高橋 順子

青少年部会は、昨年度に引き続き、定例会を原則、毎月2回行い、部会員同士の親睦を深めてきました。

6月には、タスカルーサ市青少年訪問団の高校生12名とフットサルやバスケットボールによるスポーツ交流で汗をながしながら親交を深めました。

また、スポーツ交流後も東京見学や富士吉田でタスカルーサの高校生達と楽しいひと時を過ごすことができました。

12月には、毎年恒例のクリスマス会を開催し、20名程の方が参加してくれました。今回のクリスマス会では、ゲームをしたり、ケーキやお菓子を食べたりして盛り上がりました。

来年度は今まで継続してきたものに加え、新たなイベントを計画中です。皆さん、気軽に遊びに来て下さい。部会員も募集しています。



オバマ大統領の First Dog の座を占めるのは どのワンちゃん？

今回のタスカルーサ通信は、なんとタスカルーサ市に
いる First Dog 有力候補の 7 ヶ月の犬の事です。オバ



マ家で「パパ、犬が飼いたい」と言ったのはマリアさん
です、でも動物アレルギーがあるのでそこで候補にあ
がったのはアレルギー・フレンドリーのラブラドゥード
ル（ラブラドルとプードルの掛け合わせ）という抜け
毛の無い臭いもない犬です。愛嬌抜群、忍耐強く温厚で
社交性もあり鋭い勘さえているのが特徴です。次の
候補はポルトガル・ウォーター・ドッグ性質はラブラ



ドゥードルと同じです。問題はカットとシャンプーが頻
繁に必要というある種の特性をもっています。

「ナンだ、よく似ているじゃないか」って？

そうね、でも姉妹都市、タスカルーサのラブラドゥ
ードル、頑張れ！

Yes you can!!

アラバマ大学進学への道

習志野市の姉妹都市、タスカルーサ市は、小さな都市
ですが、州立総合大学があります。それがアラバマ大学
です。両市が姉妹都市提携を結んでから 23 年になりま
すが、アラバマ大学はそれより以前から千葉大学と提携
校の関係にあり（その他に名古屋工大、関西外大などと
も提携している）、日本との交流、日本文化の研究を目
的とした、Japan Program という機関を持っております。
このプログラムが毎年 3 月に主催する“さくらフェ
スティバル”の俳句コンテストには、習志野市の小学生・
中学生・成人が応募して数多く入賞していることは、皆
様ご存知の通りです。また、習志野市が毎年夏休み期間
中に両市の交流事業の一環として派遣した中学生・高校
生たちは、この大学で英語研修を受けていました。この
交流事業に参加した生徒の中には、その後、アメリカの
高校や大学で学んでいる生徒もいると聞いています。ア
ラバマ大学は、他のアメリカの大学同様他国からの留学
生（international students）の受入に非常に熱心で、習
志野市からの進学者が多く出現することを望んでいま
す。

このような背景があることからアラバマ大学の日本人
の先生が日本人学生の協力も得て、ホームページを立ち
上げて、アラバマ大学進学を希望する日本人高校生・大
学生などを対象として情報提供をしています。

(http://bama.ua.edu/~karizumi/ua_japan/)

この中の「よく寄せられる質問」をぜひお読みくださ
い。外国の大学進学を希望する若者たちが抱くであろう
疑問、例えば、「要求される英語力はどのくらいか」、「入
学は日本と同じく 4 月なのか」、「卒業は 3 月なのか」と
いうような基本的な事項をはじめ、アメリカの大学の授
業の特徴などの質問に対する答えが懇切丁寧に記されて
います。

習志野市国際交流協会は、アラバマ大学に限らず、海
外の大学への進学に興味を持つ人々のためにできるだけ
多くの情報を提供したり、東京にあるアメリカの大学の
ジャパンキャンパスを一緒に見学したり、様々な活動を
行うことを計画しています。興味のある人は事務局にゼ
ひお立ち寄りください。

問 6 関東平野にある千葉県は平均海拔は約 43 m で日本で（ ）番低い県

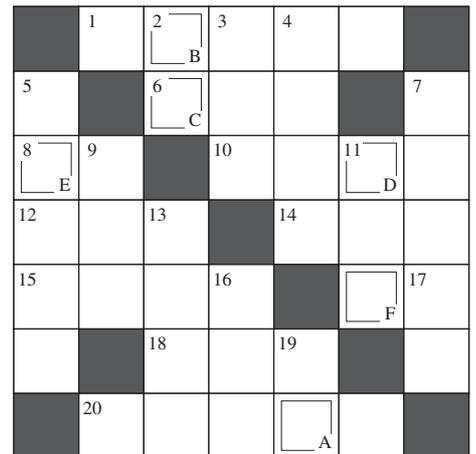
Let's チャレンジ/ザ・英文クロスワードパズル No.85 /プレゼント付!

〈Across〉

1. ____, larger, largest.
6. Extremely very
8. Letter of Credit
10. ____, dated, dating.
12. The whole of
14. ____, legged, legging.
15. Twelve O'clock in the day time.
17. East India
18. A large, closed truck or wagon for moving furniture, animals, etc..
20. The absence of war.

〈Down〉

2. Air Transportation
3. A straight slender stick of wood, medal, or other material.
4. The terminal point in a race.
5. Not written or printed on.
7. ____, began, begun.
9. Central liaison office
11. The starting place, usually a hard mound of earth, at the beginning of play for each hole.
13. Sexual desire or its gratification.
16. National aeronautic association.
19. North Carolina



〈出題者〉 御園生 馨 (編集部)

〈応募要項〉

パズルを解いたあと、A-Fを夫々つなげて出来た言葉が正解です。解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌への感想等を書いて送って下さい。解答は、ハガキ、Fax、Eメールで4月末日までにお送り下さい。

正解者の中から抽選で5名の方に粗品をプレゼントします。

「NIA スクウェア」編集部まで。

たくさんのお応募お待ちしております。

前回の解答

〈解答〉DIET

	D	O	C	T	O	R	
M		B	E	E	N		T
E	T		D	A		M	E
M	E	N		M	E	A	N
B	A	C	H		E	N	D
E	R		A	B		G	E
R		I	N	T	O		R
	E	N	D	U	R	E	

《クロスワードパズル当選者》

岩間敏男さん 太田優さん 小林信子さん
林澄人さん 吉田明生さん

◆ ページの余白に小問題があります。

()の中に数字を入れ、合計した「数」をNIA事務局にお送りください。

正解者の中から抽選で3名の方に粗品を進呈いたします。

N.I.A スクウェア・第85号

発行 2009年3月1日 / 発行責任者・山田大三

編集・習志野市国際交流協会

編集責任者 谷川博俊

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード津田沼4F

TEL/FAX 047-452-2650

http://www.nia08.com/

<Eメール> nia@seaple.ne.jp

読者の広場

〇〇・Mさん

先日、図書館で本紙をお見かけし、市内の学校に通っていた時はいつも配布されていたなあ、と懐かしくなって手に取りました。身近な所で国際交流の広報活動があるのはとても嬉しく思います。来年も、たくさん海外の文化に触れていきたいと思いました。

〇I・Tさん

習志野市にある谷津干潟など日本の誇るべき自然、風景、遺跡などを大いに海外へ紹介することに努めて欲しいと思います。

〇K・Nさん

蛇口をひねると出てくるのが当たり前でそれこそ湯水のように使っている水が、神戸の地震の時には無くなり、みんなが困った状況が思い出されました。私たちの体には水が7割も占め、水無しでは生きていけないことを再確認して大事に使っていきたいと思います。体に入れるのもなるべくいい水にしたいですね。

〇Y・Aさん

近頃の子供は、ALTのネイティブに接する機会があっていいですね。私の頃は、大学の授業で初めてネイティブの先生に当たり、とても緊張したものです。

編集後記

●今年度の最終第85号をお届け致します。広報部では、今年度、小中・高等学校を訪問し、交流を深めるとともに意見交換をして、児童生徒がNIAに寄せる期待や要望を知ることが出来ました。大変な収穫でした。●NIAのホームページの更新も皆さんのご協力で10月に出来ました。ぜひ、ご活用ください。●英文クロスワードパズルの出題を長きにわたり担当して頂きました御園生馨さんありがとうございました。●各ページの余白にある小問題は毎回杉山千元さんに出題をお願いしております。●「読者の広場」へ皆様のご投稿をお待ちしております。
(編集部)